



日本キリスト教団  
**三軒茶屋教会**

〒154-0024  
東京都世田谷区三軒茶屋1-31-5  
TEL/FAX: (03) 3418-4933  
編集/発行: 広報部

**三軒茶屋**  
**教会通り**

創刊号 1998年9月発行

目次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 「主に支えられ、主に仕える」陣内厚生…………… | 1  |
| 役員会各部責任者の運営方針……………      | 2  |
| 1998年度定期教会総会報告……………     | 8  |
| 1998年夏期修養会……………         | 9  |
| 証し「転入会の三つの理由」吉田勝也……………  | 11 |

**主に支えられ、  
主に仕える。**



**牧師 陣内厚生**

三軒茶屋教会に赴任して、第二年月が早六カ月を過ぎました。私としては、実に三十四年ぶりの東京での生活ということになります。が、正直言って「今浦島」みたいな、ある種のカルチャー・ショックはかくしきれません。新入社員の研修期間よろしく数カ月を経過して、改めて神の召命に応えていかなければと祈り続けています。

今年度の教会標語に「主に支えられ、主に仕える」という言葉を造りました。二年間の無牧の期間、信徒の皆さんは必死に教会を守ってこられたわけですが、これを支えて下さった主の有形無形のお力添えにより、教会は貴重な体験を積んできたことでしょう。三軒茶屋教会には、もちろん創立以来の奥牧師の薫陶による信仰の伝統がありますが、加えて教会の試練に出会って信徒が訓練されてきた点も大いにあると言えます。総じて教会の良さも欠点も包み併せて、これから必死に主に仕えてできる信徒の群をつくり上げていかねばならないと思います。

さて、教会はきれいごとばかりではありません。ある人は教会へ足を踏み入れてみて、あまりにも人間臭さを感じられるので失望し、もう二度と来たくないと思うこともある

でしょう。もつと天国に近いような美しい所とまでは思わないにしても、教会にはさすがに信仰に生きている人がいる、しかも弱さや恥も全部さらけ出して必死に生きている人たちが大勢いるということを分かってもらおう必要があります。標語聖句にある「信仰の導き手であり、完成者であるイエスを仰ぎ見つめようではないか」という姿勢を堅持したいものです。

私たちの信仰は、言うまでもなくイエス・キリストとの出会いによるものです。自分のもつ人生の諸問題、とりわけ罪の問題を解決するために、この主の犠牲的贖い・十字架による救いを信じ受け入れたからです。主は僕の形をとり人間の醜さと暗さをすべて一掃し、遂に、この世に対する決定的な勝利を示されたのでした。主は悩める者と共に悩み、重荷を負い続けて下さるゆえに、私たちの生はこれにこだわり続けねばならないのです。

三軒茶屋教会の信徒の現状はどうでしょうか。個々には尊敬すべき信仰の自分史をもつた人たちがばかりです。その個性も能力もすばらしく輝いています。が、まだまだ人間性豊かな関係づくりがお互いに未熟です。先の夏期修養会に掲げた主題「隣り人が見えますか」